

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和2年8月発行

# 広尾っ子応援団だより (No.26)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



## 今年度の重点教材を扱った授業を紹介

7月17日（金）5時間目 広尾中学校 第2学年保健体育科「バスケットボール」

今年度の重点教材の一つです。島尻先生の指導で実施されました。

広尾中の教育課程には、「運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う」と体育科の内容が記されています。



「ディフェンスの動きを見て、次のプレーを素早く判断することが大切」と学習の目標を示しました。



## 広尾町商工会が家庭教育サポート企業として道教委と協定

6月23日（火）、広尾町商工会と道教委が協定を締結しました。

広尾町商工会はこれまで地域行事や職場見学などの協力・支援、防犯ブザーの寄贈などを行っていましたが、今後はこれらに加え、広尾っ子応援団の活動や家庭・地域における「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発などにも協力していくことになりました。



意見交換する齊藤会長、菅原教育長、村上教育局長

# 地域・家庭でも取組を！！ 第2回学校運営協議会報告

令和2年度の「地域・家庭の方策」が決定しました。

## 1. 各CSにおける地域・家庭の方策

### 広尾小学校

- ❖ 家族の交流（話し合い）を促進する。
- ❖ 広尾町の歴史などを地域の人に語ってもらう機会をつくる。
- ❖ 「コロナ」の経験を記録し、タイムカプセルで残す。

コロナ禍により多くのイベントが中止となり家庭で過ごす時間が増えることから、「テーマを設けた話し合いなどで家族の交流を深めて欲しい。」と呼びかけています。



道教委社会教育主事3名が広尾小の会議を視察

### 豊似小学校

- ❖ 親の仕事をビデオで撮影し、教材として活用できるようにする。

（試行的に、ロボット牛舎の様子を撮影し、学校に提供する。）

- ❖ 収穫期の様子をドローンを使って撮影する。

委員からは、「本町の学校にも提供できるようにするとともに、漁業の様子などを撮影してもらうとよい。」といった意見も出されました。



### 広尾中学校

- ❖ スマホやPCの有効活用の啓発

「生まれたときから、スマホが当たり前前の社会で育つ子どもたちには、ICTが有効なコミュニケーションツールになってほしい。」「一方、使い方を間違えると他人を傷つける。大人の問題として関心をもってほしい。」と呼びかけています。



## 2. 熟議「子どもたちの強み・弱み」

会議の後半では、学校から子どもたちの現状について説明を受けた後、「熟議」を行いました。

感染予防のため、付箋紙と模造紙を使ったKJ法ではなく、各委員の意見をPCで処理し、スクリーンに映して意見交流しました。また、広尾小、広尾中はコミュニティセンター大ホールで実施しました。

交流された意見は広尾町公式WEBサイトで見ることができます。